協議議事録仮訳

ギニア共和国
漁業調査船建造計画基本設計概要説明調査
協議議事録

国際協力事業団（以下「JICA」と称す）は、2001年5月に「漁業調査船建造計画」（以下「プロジェクト」と称す）に係る基本設計調査団をギニア共和国（以下「ギニア国」と称す）に派遣した。ギニア国内における一連の協議及び日本国内における技術的な検討結果として、JICAはプロジェクトの基本設計概要を用意した。

ギニア国側に基本設計概要の内容を説明するために、2001年8月27日から9月1日にかけて、JICAは、同国へ国際協力事業団無償資金協力部越智由美子を団長とする基本設計概要説明調査団を派遣した。

協議の結果として、双方は付属書に記載の通りの事項につき確認した。

コナクリ市　2001年8月31日

国際協力事業団 (JICA)
基本設計概要説明調査団
団長
越智　由美子

ギニア共和国
協力担当政務次官事務局協力庁
多国間協力部長
アルファ・ヤヤ・ディアロ

ギニア共和国
漁業養殖省
官房長
イブラヒマ・ソリ・トウレ

付属書

1．基本設計概要の内容

ギニア国政府は、調査団によって示された基本設計概要の内容を了解した。

2．日本国政府の無償資金協力の制度

ギニア政府側は、調査団によって説明され、かつ2001年5月28日付けで署名された協議議事録の添付資料2に記載されている、日本の無償資金協力制度及びギニア政府がとらなければならない必要な措置について、理解した。

3．調査日程

国際協力事業団は、確認事項に従い基本設計調査報告書を作成し、遅くとも2002年1月にギニア政府に提出する。

4．特記事項

4－1　漁業調査船の停泊及び資機材の設置または保管のための準備

ギニア国政府は、漁業調査船及び資機材の到着までに、以下の施設の整備を行う。

－漁業調査船のための安全な係留施設
－本船に搭載される漁具等資機材の保管倉庫
－調査研究機材の格納場所・使用場所
－駐車場
－陸上用無線局（SSB、VHF）の設置場所（電気の引き込みを含む）

4－2　人員の確保、育成

（1）ギニア国政府は、漁業調査船到着までに、漁業調査船運航に必要な乗組員（航海士、機関士、無線通信士、漁撈長）の配置を行う。

（2）ギニア国政府は、漁業調査船到着までに、陸上支援要員（調査船管理主任、無線通信士、電気技師、エンジニア、雑役要員）の配置を行う。

4－3　漁業調査船運航のための準備

（1）ギニア国政府は、漁業調査船の日本出発60日前までに、本調査船の日本からギニアへの回航・運行に必要な（仮）国籍証明、信号付字、IDナンバー等の本船の登録と無線局開局に必要な許可及び詔書の取得、その他事前の免許・許可の取得を行う。

（2）ギニア国政府は、漁業調査船のギニア国到着後、以下の措置を行う。

－通関、船舶登録手続き
－資格許可の取得・登録
－船舶保険の付保

4－4　免税措置

ギニア国政府は、無償資金協力に基づき供与される計画調査船及び資機材、調査研究機材、車輌等物品に対する全ての税金に関する費用を負担するものとする。

4－5　漁業調査船運航及び維持管理に必要な費用の確保

ギニア国政府は、漁業調査船の運航及び維持管理（検査、修繕、船底清掃、保守）に必要となる予算を講じるとともに、必要な時期に適切に執行できるようにする。

資料6

# 事前評価表

１．対象事業名

ギニア国漁業調査船建造計画

２．我が国が援助することの必要性・妥当性

(1)　我が国は、これまで運輸分野における有償資金協力のほか、食糧、水供給、教育分野等の基礎生活分野を中心とする無償資金協力、農業、通信・放送分野等での研修員受け入れ等の技術協力により援助を実施している。また、同国の構造調整努力に対する支援として、86年度および88年度に合計60億円の構造調整借款を供与したほか、99年度までに合計44億円のノン・プロジェクト無償資金協力を実施した。今後とも同国の民主化、経済改革努力を支援するため、基礎生活分野を中心に援助実施を検討していく方針である。ただし、ギニアは、既に債務削減措置の適用を受けている上、重債務貧困国（HIPC）としてケルン・サミットでの合意に基づいて成立した「拡大HIPCイニシアティブ」に基づく債務削減措置が適用されることが見込まれており、新規の円借款による協力は困難である。

更に、同国政府は、2000年後半を目途に「貧困削減戦略ペーパー（Poverty Reduction Strategy Paper）」（暫定版）を作成中であり、我が国としても右作業に積極的に後見していく方針である。

（「我が国の政府開発援助ODA白書　下巻(2000)」中の“各国の2項”抜粋）

(2)　ギニア国の沿岸水産資源は、沖合いを含め多数の外国企業漁船を入漁させているなど過度な漁獲強度により大幅に減少しており、沖合いの開発も含め水産資源の適切な管理が急務となっている。しかし、水産資源の管理に必要な資源状態を把握するための調査は主として外国船の傭船、支援に頼っており継続的に信頼できるデータを取得するために、自主的な調査体制の確立が望まれる。

国家開発計画「ギニアビジョン2010年」において経済の大幅且つ恒久的な成長、促進を目標とし、水産部門の役割として「水産物による食糧供給の安定化、漁場管理の合理化と魚価の向上による多額で持続的な外貨の獲得源、水産分野の経済的安定による雇用創出と拡大に貢献すること」が求められている。

| | 1998年 |
|---|---|
| 人口 | 708万人 |
| GDP | 3,830百万ドル |
| 一人当たりGDP | 530 ドル |
| 一人当たり年間魚消費量 | 13kg |

＜ギニア国基礎指数＞

単位百万円

| | 1996 | 1997 |
|---|---|---|
| ギニアへの輸出（鉄鋼板、乗用・貨物自動車等） | 1,743 | 1,443 |
| ギニアからの輸入（魚、イカ類、木材等） | 1,196 | 530 |
| ギニアへの直接投資（金開発合弁会社） | 0 | 0 |

＜対日貿易関係＞

(3) 当該国の社会・経済事情については添付資料の「一般指標・経済指標」参照

3．事業の目的等(プロジェクト目標)

漁業調査船および関連資機材の整備を通じ、資源管理型の漁業政策の策定に資する漁業資源調査活動の強化を図る。

4．事業の内容

(1) 対象
ギニア国の排他的経済水域（EEZ)の漁業資源

(2) アウトプット
ギニア国EEZ内の漁業資源調査をし得る漁業調査船を建造し、資機材が整備される。

(3) インプット
漁業調査船・漁労無線航海計器・調査用漁具・海洋観測機器・調査船ラボ用機材・陸上ラボ機材・車両他

(4) 総事業費
概算事業費　日本側:8.8億円，ギニア側:1百万円

(5) スケジュール
詳細設計期間を含め15ヶ月の工期を予定

(6) 実施体制
ギニア国漁業養殖省及び国立ブスラ水産研究センター
- 調査船入手後は国立ブスラ水産研究センターが調査・運航・管理する
- 漁業養殖省は調査結果により資源管理に必要な施策を実施する。

5．プロジェクトの成果

(1) プロジェクトにて裨益を受ける対象の範囲及び規模
直接裨益：本調査船を直接利用する研究員を含む全漁業・養殖省職員約600人
間接裨益：ギニア国全土

(2) 事業の目的（プロジェクト目標）を示す指標

| | 1998年 | 1999 | 2000 | 2003(実施直後年) |
|---|---|---|---|---|
| 洋上資源調査回数 | 2回 | 0 | 0 | 5回 |
| 資源評価の為のパラメーターの推定 | 1魚種 | | | 1～2魚種 |
| 海洋環境と資源動態の関係の解明 | 0 | | | 1～2魚種 |

(3) その他の成果指標

| | 1998年（洋上調査最終年） | 2008年(実施後5年) |
|---|---|---|
| ＭＳＹの設定 | 0 | 数魚種 |
| ＴＡＣの設定 | 0 | 数魚種 |

| 6．外部要因リスク |
| --- |
| 本調査船運航費用の予算確保と執行<br>その要因として下記の可能性が考えられる。<br>(1) 入漁船減少による入漁料収入の減少<br>(2) EU 他外国援助資金の減少 |
| 7．今後の評価計画 |
| (1) 事後評価に用いる成果指標<br>①洋上資源調査回数<br>②資源評価の為のパラメーター(生物・生態学的)の推定<br>(2) 評価のタイミング<br>①調査船供用開始後、1年後以降の全体評価<br>②調査船供用開始後、5年後以降を目処に再度全体評価事 |

# 収集資料一覧

調査名　ギニア共和国漁業調査船建造計画

2001年9月28日

| 分類 | 番号 | 名称(和文) | 名称(原文) | 形態 | オリジナル・コピー | 発行機関 | 発行年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A. 経済・予算・一般統計 | 1 | 人口統計資料（1996年調査） | RECENSEMENT GENERAL DE LA POPULATION ET DE L'HABITATION DE LA GUINEE (1996) | 印刷物 | コピー | | 1996年調査 |
| | 2 | マクロ経済の概略（1997） | Cadrage Macro-économique (Mise en oeuvre de Cadre des Dépenses à Moyen Terme:CDMT) | 印刷物 | コピー | MPC | 1997年8月 |
| | 3 | マクロ経済の概略（2000） | Cadrage Macro-économique (Mise en oeuvre de Cadre des Dépenses à Moyen Terme:CDMT) | 印刷物 | コピー | MEF | 2000年11月 |
| | 4 | ギニア経済状況 | TABLEAU DE BORD DE L'ECONOMIE GUINEENNE | 印刷物 | コピー | MEF | 1999年6月 |
| | 5 | 統計報告書（1996） | BULLETIN DE STASTISTIQUES 1996 | 印刷物 | コピー | MPC | 1997年12月 |
| | 6 | 国家統計　（2000年12月発行） | Cadrage Macro-économique DESM/DNP/SEP/MEF | 印刷物 | コピー | | 2000年11月7日 |
| | 7 | 開発のビジョンと戦略 | VISION ET STRATEGIEW DE DEVELOPPEMENT | 報告書/論文 | コピー | | 1998年6月 |
| | 8 | 2000年度漁業省予算表 | | 印刷物（表） | コピー | MPA | |
| | 9 | ギニア・ビジョン2010 開発戦略 | GUINEE, VISION2010 | 印刷物 | コピー | MEF | 1998年 |
| | 10 | CNSHB→漁業省予算措置申請 | | レター | コピー | CNSHB | |
| | 11 | 漁業省→計画省予算措置申請 | | レター | コピー | MPA | 2001年8月4日 |
| B. 法律・政令・規則 | 1 | 漁業規則：　最善の管理の為の規則 | CODE DE LA PECHE MARITIME : UNE BONNE REGLEMENTATION POUR UNE MEILLEURE GESTION | 規則集 | オリジナル | MPA | 1995年 |
| | 2 | CNSHBの役割に関する漁業法官報 | PORTANT ATTRIBUTION ORGANISATION ET FONCTIONNEMENT CNSHB | 官報 | コピー | | 1995年10月 |
| | 3 | 海洋漁業法に関する省令 | DECRET 227/PRG/SSG PORTANT REGLEMENT GENERAL DE MISE EN OEUVRE DU CODE DE LA PECHE MARITIME DE LA REPUBLIQUE DE GUINEE | 印刷物 | コピー | SECRETARIAT GENERAL DU GOUVERNEMENT | 1997年 |
| | 6 | 省令第003号/MPA/SGG　2000年漁業計画の関連同意 | ARRETE N003MPA/SGG PORTANT APPROBATION DU PLAN DE PECHE 2000 | 印刷物 | コピー・訳文 | MPA | 2000/1月 |
| | 4 | 2001年漁業計画に関する省令 | ARRETE N5523/MPA/SGG PORTANT APPROBATION DU PLAN DE PECHE 2001 | 印刷物 | コピー | MPA | 2000年12月 |
| | 5 | 1999年3月8日付け国家組織・人事辞令に関する省令 | LE PRESIDENT DE LA REPUBLIQUE -DECRET-　VU la Loi Fondamentale et notamment se son Article 39 | 印刷物 | コピー | SECRETARIAT GENERAL DU GOUVERNEMENT | 1999年3月 |
| C. 漁業省・CNSHB　一般 | 1 | CNSHB年間活動報告（1999） | RAPPORT ANNUEL D'ACTIVITE (CNSHB) | 報告書/論文 | コピー | MPA | |
| | 2 | 年間日誌 | JOURNAL DE L'AN | 報告書/論文 | コピー | (MPA) | 1998年12月 |
| | 3 | 2000年科学報告 | RAPPORT SCIENTIFIQUE ANNUEL　(ANNEE2000) | 報告書/論文 | コピー | CNSHB | 2000年 |
| | 4 | CNSHB組織図（新/旧） | Organigramme du CNSHB | 印刷物（図） | コピー | CNSHB | |
| | 5 | 2000年第一四半期活動報告 | RAPPORT D'ACTIVITES PREMIER SEMESTRE 2000 | 印刷物 | コピー | MPA | 2000年7月5日 |
| | 6 | CNSHBにおける水産研究活動の総合評価 | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D. 資源・調査・研究 | 1 | 「ギニア内水面魚類資源に対する物理的かつ生物学的環境の役割」に関する報告書 | Rôle de l'environnement physique et biologique sur les ressources ichtyologique en Basse-Guinée (Rapport de fin de convention) | 報告書/論文 | コピー | ORSTOM/CNSHB | 1994年7月 |
| | 2 | ギニア排他的経済水域における漁業資源とその開発の見通し | LES RESSOURCES EN POISSON de la zone é conomique exclusive guinéenne et LES PERSPECTIVE de leur EXPLOITATION | 本 | オリジナル | Ministère du Dé veloppement rural | 1985年 |
| | 3-a | 1985～1988年ギニア海域におけるトロール船アンドレ ニズリー号資源調査航海報告 | RAPPORT DES CAMPAGNES DE CHALUTAGES DU N.O ANDRE NIZERY DANS LES EAUX DE LA GUINEE DE 1985 A 1988 | 報告書/論文 | オリジナル | MNISTERE FRANCAIS DE LA COOPERATION / ORSTOM | 1989年7月 |
| | 3-b | 海洋調査船アンドレ ニズリー号 | LE NAVIRE OCEANOGRAPHIQUE <ANDRE NIZERY> | 印刷物 | コピー | | |
| | 4 | ギニアトロール船ルイ ソウジャー号資源調査航海報告 | RAPPORT DE LA CAMPAGNE DE CHALUTAGES DU N.O. LOUIS SAUGER AU LARGE DE LA GUINEE (24AVRIL AU 19MAI 1990) | 報告書/論文 | | CRHB | 1991年7月 |
| | 5 | 1998年9月21日より10月2日までの観測船ANTEA号活動についての最終報告書 | Rapport final de la Campagne du N.O.ANTEA du 21/09 au 02/10/98 | 報告書/論文 | | | |
| | 6 | ギニア排他的経済水域における水産加工業化可能な浮魚資源調査 | EVALUATION DES RESSOURCES PELAGIQUES DE LA ZONE ECONOMIQUE EXCLUSIVE GUINEENNE ACCESIBLE A LA PECHE INDUSTRIELLE | 報告書/論文 | コピー | CNSHB | 1999年3月 |
| | 7 | ギニア排他的経済水域漁業の保護・監視プロジェクト | PROJET PROTECTION ET SURVEILLANCE DES PECHES DE LA ZEE GUINEENNE | 報告書/論文 | オリジナル | ORSTOM/CNSHB | 1995年12月 |
| | 8 | ギニア沿岸漁業： 資源と開発 | La pêche côtière en Guinée : ressources et exploitation | 本 | オリジナル | CNSHB/IRD | 1999年 |
| | 9 | ギニア水域におけるコノシロ類の繁殖生態に関する研究 | BIOLOGIE DE LA REPRODUCTION DE L'ETHMALOSE EN GUINEE | 報告書/論文 | オリジナル | CRHB | 1991年6月 |
| | 10 | ギニア水域における３種のハママギ類成長に関する研究 | CROISSANCE DE TROIS ESPECES D'ARIIDAE(SILURIFORMES) DES COTES DE GUINEE | 報告書/論文 | オリジナル | CRHB | 1992年10月 |
| | 11 | ギニア沿岸海域別漁業概略（1997） | Atlas des pêches maritimes de Guinée 1997 | 説明書・訳文 | オリジナル | ORSTOM/CNSHB | 1997年 |
| | 12 | ギニア船大工の将来は明るくない： 零細漁業の発展も彼らにかかっている | L'AVENIR DES CHARPENTIERS DE MARINE EN GUINEE N'EST PAS INEXORABLEMENT BOUCHE: LE DEVELOPPEMENT DE LA PECHE ARTISANALE DEPNED AUSSI D'EAU! | 報告書/論文 | オリジナル | CRHB | 1990年6月 |
| | 13 | コナクリー零細漁港水揚場の消失：ダボンディーの歴史的要素からの初期分析 | DISPARITION DES DEBARCADERES DE PECHE ARTISANALE A CONAKRY. PREMIERE ANALYSE A PARTIR DE QUELQUES ELEMENTS D'HISTOIRE DE | 報告書/論文 | オリジナル | CRHB | 1990年6月 |
| | 14 | ギニア共和国、水産資源管理の問題 | PROBLEMATIQU DE LA GESTION DES RESSOURCES HALIEUTIQUES EN REPUBLIQUE DE GUINEE | 報告書/論文 | コピー | CNSP | 1999年11月 |
| | 15 | 養殖鑑定報告書 | RAPPORT D'EXPERTISES PISCICOLES | 報告書/論文 | オリジナル | MPA/FAO | 2001年 |
| | 16 | 森林ギニアにおける養殖の拡張適応モデルと水田利用養殖 | Pisciculture Extensive en Guinée Forestière Modèle de développement intégré et rizipisciculture | 報告書/論文 | コピー | MPA/IRD/SOGUIPAH | 2001年6月 |
| | 17 | ギニア漁業の現実と問題点 | LES PECHES MARITIMES GUINEENNES -REALITE ET ENJEUX- | 報告書/論文 | コピー | ORSTOM | 1998年11月 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| E. CERESCOR 論文集 | 1 | ログバネセンター報告書 1号 | Bulletin du centre de Rogbané N1 | 報告書/論文 | オリジナル | CERESCOR | 1985年1月 |
| | | ログバネセンター報告書 4号 | Bulletin du centre de Rogbané N4 | 報告書/論文 | オリジナル | CERESCOR | 1988年10月 |
| | | ログバネセンター報告書 12号 | Bulletin du centre de Rogbané N12 | 報告書/論文 | オリジナル | CERESCOR | 1988年10月 |
| | | ログバネセンター報告書 13号 | Bulletin du centre de Rogbané N13 | 報告書/論文 | オリジナル | CERESCOR | 1999年9月 |
| | | ログバネセンター報告書 14号 | Bulletin du centre de Rogbané N14 | 報告書/論文 | オリジナル | CERESCOR | 1999年12月 |
| F. 水産物流通 | 1 | 1999年コナクリー港における水産物水揚・輸出統計 | STASTISTIQUES DES DEBARQUEMENTS ET DES TRANSBORDEMENTS DES PRODUITS DE LA PECHE AU PORT AUTONOME DE CONAKRY ANNEE 1999 | 印刷物 | コピー | MPA | 2000年1月 |
| | | 2000年（1－12月）水産物の水揚・輸出統計 | RAPPORT DES STATISTIQUES DE DEBARQUEMENT DU MOIN DE JANVIER－DECEMBRE 2000 | 印刷物 | コピー | MPA | 2000年 |
| | | 2001年(1-4月）水産物の水揚・輸出統計 | RAPPORT DES STATISTIQUES DE DEBARQUEMENT DU MOIN DE JANVIER－AVRIL 2001 | 印刷物 | コピー | MPA | 2001年 |
| | 2 | コナクリーの魚類流通における初歩的提案 | PREMIERE ESQUISSE D'UNE ETUDE DES CIRCUIT DE COMMERCIALISATION DU POISSON A CONAKRY. (Juin-Juillet 1989) | 報告書/論文 | コピー | CRHB | 1990年6月 |
| | 3 | ディクサンにおける魚類の流通について | COMMERCE ET TRANSFORMATION DU POISSON A DIXINN (CONAKRY) | 報告書/論文 | オリジナル | CRHB | 1992年6月 |
| G. 水産統計 | 1 | 1995年漁業統計 | Bulletin Statistique des Pêches Année 1995 | 報告書/論文 | コピー | CNSHB | 1996年8月 |
| | | 1996年漁業統計 | Bulletin Statistique des Pêches Année 1996 | 報告書/論文 | コピー | CNSHB | 1997年6月 |
| | | 1997年漁業統計 | Bulletin Statistique des Pêches Année 1997 | 報告書/論文 | コピー | CNSHB | 1998年6月 |
| | | 1998年漁業統計 | Bulletin Statistique des Pêches Année 1998 | 報告書/論文 | コピー | CNSHB | 1999年6月 |
| | 2 | 水産加工品価格統計 | Prix à la consommation (Fg/Kg) | 印刷物（表） | コピー | CNSHB | |
| | 3 | 外国漁船漁獲統計（1997～2000） | | 印刷物 | コピー | | |
| H. 地図・海図など | 1 | CNSHB敷地・建物見取り図 | | 簡易図面 | コピー | CNSHB | 1998年11月等 |
| | 2 | コナクリー地図 | PLAN GUIDE DE CONAKRY | 地図 | オリジナル | PAPETERIE CENTRALE | |
| | 3 | ギニア地図 | GUINEE Carte Générale à 1:1,000,000 | 地図 | オリジナル | INSTITUT DE TOPOGRAPHIE &DE | 1992年 |
| | 4 | コナクリー及び周辺海域海図 | CONAKRY AND APPROCHES | 地図 | オリジナル | Taunton, UK | 1998年10月 |
| | 5-a | ギニア沿岸大陸棚海底堆積図 | CARTE SEDIMENTOLOGIQUE DU PLATEAU CONTINENTAL GUINEEN | 堆積図・解説書 | オリジナル | ORSTOM/CNSHB | 1993年 |
| | 5-b | ギニア沿岸大陸棚海底堆積図 | CARTE SEDIMENTOLOGIQUE DU PLATEAU CONTINENTAL GUINEEN ： CONAKRY(OUEST) | 地図 | | | |
| | 5-c | ギニア沿岸大陸棚海底堆積図 | CARTE SEDIMENTOLOGIQUE DU PLATEAU CONTINENTAL GUINEEN ： CONAKRY(EST) | 地図 | | | |
| | 6 | 浮きドック「KALOUM 1」図面 | REPUBLIQUE DE GUINEA DOCK FLOTTANT DE 1600 TONNES 「KALOUM 1」 | | | | |
| | 7 | 係留ドック見取り図 | Bâtiments dans la zone a darse | 見取り図 | コピー | L&P | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| I．名簿 | 1 | 零細漁村ブルバンヌ港湾管理職名簿 | DIRECTION GENERALE DU PORT DE PECHE ARTISANALE DE BOULBINET | 印刷物 | コピー | | |
| | 2 | 表： 内水面および養殖関連管理職名簿 | TABLEAU: AGENTS POSTES DE LA DIRECTION NATIONAL DE LA PECHE CONTINENTALE ET DE | 印刷物 | コピー | | |
| | 3 | ケニアン製氷センター管理者名簿 | TABLEAU 1: AGENT POSTES (KENIEN) | 印刷物 | | | |
| | 4 | CNSP管理者名簿 | TABLEAU 1: AGENT POSTES (CNSP) | 印刷物 | | | |
| | 5 | 資産・機材管理者名簿 | TABLEAU AGENTS POSTES DE LA CELLULE PATRIMOINE ET EQUIPEMENTS DE PECHE | 印刷物 | | | |
| | 6 | 船員候補名簿 | LISTE DU PERSONNEL NAVIGANT | 印刷物 | コピー | | |
| | 7 | 研究者名簿 | Liste du personnel chercheur et service d'appui à la | 印刷物 | コピー | | |
| | 8 | CNSHB管理者名簿 | TABLEAU 1: AGENT POSTES (CNSHB) | 印刷物 | | | |
| J．その他 | 1 | 2000年船団の一般状況 | SITUATION GENERALE DE LA FLOTTE | 印刷物 | コピー | | |
| | 2 | 漁業省→運輸・公共事業省 港湾使用許可申請 | | レター | コピー | MPA | 2001年8月4日 |
| | 3 | 漁業省→通信省CALL ID取得申請 | | レター | コピー | MPA | 2001年8月4日 |
| | 4 | コナクリー機械 カタログ | CMO CONAKRY MECANIQUE OUTILLAGE | ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ | オリジナル | CMO | |
| | 5 | 漁業・養殖概説 | PECHE & AQUACULTURE EN REPUBLIQUE DE | ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ | オリジナル | MPA | |

略語：

| | | |
|---|---|---|
| CERESCOR | コナクリ調査科学研究センター | Centre de Recherche Scientifique de CONAKRY Rogbané |
| CMO | 船舶修理会社 | Conakry Mecnique Outillage |
| CNPS | 国立漁業監視・保護センター | Centre National de Surveillance et Protection des Pêches |
| CNSHB （旧称CRHB） | 国立ブスラ水産研究ｾﾝﾀｰ | Centre National des Sciences Halieutique de Boussoura |
| FAO | 国連食料農業機構 | Food and Agriculture Organization |
| IRD （旧ORSTOM） | 開発調査研究所(ﾌﾗﾝｽ) | Insitut de Recherche pour le Development |
| MEF | 経済･財務省 | Ministére de l'Economie et des finances |
| MPA | 漁業養殖省 | Ministére de la Pêches et de l'Aquaculture |
| ORSTOM | 海外科学技術研究所 | Office de Recherche Scientifique et Technique d'Outer Mer |

CNSHB 研究者リスト

*Liste du personnel chercheur et service d'appui à la recherche*

| N° | Chercheur | Spécialité | Degré universitaire | Département ou Service |
|---|---|---|---|---|
| 1 | Abdourahmane Kaba | Biologiste | DES | DG |
| 2 | Alkaly Doumbouya | Ingénieur Technologue | PhD. | DGA |
| 3 | Samba Tènin Diallo | Zoologiste | DEA | P. Industr. |
| 4 | Sory Traoré | Technologue | DESS | P. Industr. |
| 5 | I. Lamine Bamy | Hydrobiologiste | PhD. | P. Industr. |
| 6 | Aboubacar Sidibé | Halieute | DEA | P. Industr. |
| 7 | Fatoumata Binta Bah | Vétérinaire | DES | P. Industr. |
| 8 | Maïmouna Sow | Vétérinaire | DES | P. Industr. |
| 9 | Mouctar Cissé | Vétérinaire | DES | P. Industr. |
| 10 | Ibrahima Diallo | Biologiste | DES | P. Industr. |
| 11 | Alpha Dem | Biologie | DES | P. Industr. |
| 12 | Abdourahmane Baldé | Biologiste | DES | P. Industr. |
| 13 | M'Mah Y. Soumah | Chimiste | DES | P. Industr. |
| 14 | Pépé Hervé. Maomou | Biologiste | DES | P. Industr. |
| 15 | Cheick A. K. Bangoura | Biologiste | DES | Observatoire |
| 16 | Kadiatou Cissoko | Biologiste | DES | P. Artisanale |
| 17 | Amadou I Bah | Vétérinaire | DES | P. Artisanale |
| 18 | Jeanne Mara | Zootechnicienne | DES | P. Artisanale |
| 19 | Sékou B. Camara | Botaniste | DES | P. Artisanale |
| 20 | Framodou Doumbouya | Ichtyologue | PhD. | P. Artisanale |
| 21 | Youssouf H. Camara | Biologiste | Master | P. Artisanale |
| 22 | Athanase Guilavogui | Biologiste | DES | P. Artisanale |
| 23 | Djibril W. Camara | Biologie | DES | P. Artisanale |
| 24 | Sékou Camara | Hydrobiologiste | PhD. | P. Continent. |
| 25 | Mambi Magassouba | Ichtyologue | PhD. | P. Continent. |
| 26 | Ibrahima Cissé | Vétérinaire | PhD. | P. Continent. |
| 27 | Mangué Cissoko | Biologiste | PhD. | P. Continent. |
| 28 | Abdoulaye P. Diallo | Agronome | PhD. | Pêche continent. |
| 29 | Baïdy Samoura | Biologiste | DES | P. Continent. |
| 30 | M. Moussa Diallo | Géographe | DESS | Socio-Eco. |
| 31 | Kopé Solié | Géographe | DES | Socio-Eco. |
| 32 | M. Oury. Diallo | Economiste | DES | Socio-Eco. |
| 33 | Boubacar Diallo | Biologie | DES | Socio-Eco. |
| 34 | Mamadou Camara | Biologiste | DES | P. Industr. |
| 35 | Fatoumata Diaraye Bah | Biologiste | DES | P. Artisanale |
| 36 | Mamadou Sow | Pédologue | PhD. | G. du Littorral |
| 37 | Soriba Facinet Bangoura | Biologiste | DES | Gestion du littoral |
| 38 | Mohamed Soumah | Informaticien | DES | Service informatique |
| 39 | Moussa Touré | Informaticien | DES | Service informatique |
| 40 | Sylla | Informaticien | DES | Service informatique |
| 41 | Fofana | Informaticien | DES | Service informatique |
| 42 | Diallo | Statisticienne | DES | Service informatique |
| 43 | Sékou Amadou Diallo | Biologie | DES | Pêche artisanale |
| 44 | Fodé Kaba | Bibliothécaire | DES | Siva |
| 45 | Victor Sandouno | Bibliothécaire | DES | Siva |

# 計画調査船乗組幹部候補者リスト

| | 氏名 | 年齢 | 職名 | 年 | 主要教育歴 | ライセンス取得資格 | 主要職歴 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | Kailidou TOURE | 55 | 漁労長・船長 | 66－68 | OPEMA航海士学校 | | |
| | | | | 68－73 | ウクライナ共和国Kherson漁業学校にて遠洋漁業航海術を学ぶ | 遠洋航海一等航海士(優秀 | |
| | | | | 74 | | | OPEMA遠洋航海士として入局 |
| | | | | 75－76 | | | コナクリー港における設備(製氷施設、漁業船舶の為の機械工場)推進補佐役 |
| | | | | 76 | | | プロジェクトSINO-GUINEENにおけるトロール船''GASSIMOU BARRY および14Mai''船長 |
| | | | | 76－77 | 中国人専門家によるトロール船エンジン技術研修 | | 'SONAPECHE''艤装長 |
| | | | | 77 | | | 'SONAPECHE''水産物加工責任者 |
| | | | | 78 | | | FAO水産開発プログラムの専門家に任命 |
| | | | | 78 | フランス、Nantes ISTPM(海洋科学技術学院)において水産、遠洋航海術、漁業技術について研修 | FAO-ACTIM取得(漁具法) | |
| | | | | 80 | | | 漁業省技術委員会メンバーに選任 |
| | | | | 82－88 | | | 'SOGUIPECHE''の技術長 |
| | | | | 88－92 | | | 漁業大臣代理としブラジル造船場''CORENA et EBRASA''に23隻のトロール船造船のため赴任 |
| | | | | 99 | モロッコアガディール海事学院(モロッコ漁業省・JICA共同プログラム)にて航海術および漁場探索研修終了 | | 現職:漁業・水産増殖省 沿岸漁業局 産業漁業部 漁船管理官 |
| 2 | Lansana MARA | 52 | 船長 | 63－68 | Kindia教育専門学校 | | |
| | | | | 68 | | | コナクリー海事訓練センター入所 |
| | | | | 68－73 | ウクライナ漁業学院(天測航法・造船術・海洋気象)入所 | 航海士 | |
| | | | | 75 | | | トロール船''22 Novembre''船長 |
| | | | | 77 | | | トロール船''14 Mai''船長 |
| | | | | 80 | | | トロール船''Matakang''船長 |
| | | | | 83-84 | | | 長期航海(Conakry-Concarnean) |
| | | | | 86-87 | | | 長期航海(Conakry-Dakar)船長 |
| | | | | 89－90 | トロール船造船研修 | | |
| 3 | Mamdou Baïlo KANTE | 48 | 機関長 | 74－76 | コナクリー科学技術大学 | | |
| | | | | 76－77 | 国立たばこ・マッチ製造所(ENTA)にて研修 | | |
| | | | | 77－82 | | | 機械エンジニアとして(ENTA)勤 |
| | | | | 82－83 | | | SONFONIAの工場にて機械エンジニアとして勤務 |
| | | | | 83－96 | | | SALGUIDIAの工場にて機械エンジニアとして勤務 |
| 4 | Abou Il SYLLA | 41 | 機関士 | 84 | コナクリー海事技術学院 | | |
| | | | | | トロール船にてディーゼルエンジン研修 | 機関士 | |
| | | | | 84－85 | | | ソビエト船機械エンジニア |
| | | | | 85－87 | | | SONAPECHEにて二等機関士 |
| | | | | 87－89 | | | スペイン船'14 Mai'にて一等機関士 |
| | | | | 89－90 | | | 造船主任機械技師 |
| | | | | 94－95 | | | ブスラ港管理センター補佐 |
| 5 | Mamadou Dian DIALLO | 51 | 無線電気士 | | | 無線技士 | |
| | | | | 73－75 | | | OPEMAにて電気技師 |
| | | | | 75－80 | | | Souapêche(国営漁業会社)無線局 |
| | | | | 80－81 | ポルトガル水産工場にて研修 | | SPADにて無線局長 |
| | | | | 83-84 | | | フランスにてギニア船舶改造指導 |
| | | | | 88－89 | フランスにて無線修理・設置技術研修 | | |
| | | | | 88－90 | | | ブラジルの造船場にて顧問 |
| | | | | 90－94 | | | トロール船無線技士 |
| | | | | 96－98 | | | Kenienの冷凍センター電気技師 |

| | 氏名 | 年齢 | 職名 | 年 | 主要教育歴 | ライセンス取得資格 | 主要職歴 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | Bangay BEREATE | 35 | 航海士 | 92 | | | |
| 7 | Mandjou TRAORE | 35 | 機関士 | 91 | | | |
| 8 | Bandjou CONDE | 37 | 航海士 | 84－85 | コナクリー大学 | | |
| | | | | 85－88 | 上級海事学院（カサブランカ） | 商船二等航海士 | |
| | | | | 92－96 | | | トロール船''KAPORO''にて航海士 |
| 9 | Mamadou sita DIALLO | 44 | 幹部乗組員 | 77 | | 養殖技師 | |
| | | | | 77－83 | | | 養殖発展プロジェクト参画 |
| | | | | 83－86 | | | 水産物品質管理局にて統計を担当 |
| | | | | 86－89 | | | 漁業部に配属 |
| | | | | 91－93 | | | 国立漁業監視・保護センター |
| | | | | 95～ | | | Forekariah県漁業統計に従事 |
| 10 | Aboubacar PENDESSA | 51 | 機関士 | | | | |
| | | | | 65－68 | 海事学院 | 海事士 | |
| | | | | 68－74 | モスクワ Kherson漁業大学 | 機関士 | |
| | | | | 74 | モスクワにて機関研修 | | |
| | | | | 75－78 | | | トロール船''GASSIMOU BARRY''一等機関士 |
| | | | | 78－80 | | | トロール船''ALPHA''二等機関士 |
| | | | | | | | |
| | | | | 81－84 | スペイン漁業学院にて研修 | | |
| 11 | Amadou oury DIALLO | 49 | 水産加工技術者 | 70-73 | コナクリー海事教育学校 | | |
| | | | | 73－78 | ウクライナASTRAKHANにて水産物加工資格取得 | | |
| | | | | 79－90 | | | 漁獲物検査における統計を担当 |
| | | | | 90－95 | | | CNSP |
| 12 | Facinet CAMARA | 46 | 幹部乗組員 | 71－74 | 海事学校 | | |
| | | | | 74－75 | ウクライナ語学学院 | | |
| | | | | 75－79 | ウクライナ ベルグラド水産学校 | エンジニア | |
| | | | | 79－80 | DGPにて研修 | | |
| | | | | 80－81 | | | DGPにて統計担当 |
| | | | | 81－82 | | | MAFAPA |
| | | | | 82－83 | | | DGPにて統計担当 |
| | | | | 83－91 | | | D.P.P. Boffaにて統計担当 |
| | | | | 91－95 | | | D.P.P. Kaloumにて統計担当 |
| | | | | 95-96 | | | D.P.P. Kaloumにて普及活動 |
| | | | | 96～ | | | D.P.P. Kaloum漁業局長 |
| 13 | Naby DAMBA | 50 | 幹部乗組員 | 73-78 | ウクライナ Belorode水産学校 | | |
| | | | | 82－84 | | | ロシア船船荷監察官 |
| | | | | 86 | | | スペイン船船荷監察官 |
| | | | | 88－98 | | | OPPI管理工場長 |
| | | | | 2000 | | | 養殖・水産加工物品質検査教育係 |
| 14 | Gadiry DIALLO | 50 | 機関士 | 66-68 | コナクリー海事訓練学校 | | |
| | | | | 68 | ウクライナ Bakou語学学院 | | |
| | | | | 69－74 | ウクライナ Kherson水産学校 | 機関士 | |
| | | | | 74－80 | | | トロール船''Mafory BANGOURA''一等機関士 |
| | | | | 80－86 | | | トロール船''Soro''一等機関士 |
| | | | | 86－87 | イタリアにて電気技術研修 | | |
| | | | | 87－88 | | | トロール船''Soro''一等機関士 |
| | | | | 88－89 | フランストロール船造船場にて研修 | | |
| | | | | 89－91 | | | トロール船''Kaporo''二等機関士 |
| | | | | 91－00 | | | トロール船''Kaporo''一等機関士 |

主な略称

| | | |
|---|---|---|
| OPEMA | 水産局 | Office Pêche Maritime |
| ISTPM | 水産科学技術学院 | Institut Scientifique et Technique des Pêches Maritime |
| SONAPECHE | 国営漁業会社 | Sociètè National de Pêche |
| SOGUIPECHE | ギニア国営漁業会社 | Sociètè Guinéenne National de Pêche |
| CNSP | 国立漁業監視・保護センター | CentreNational de Surveillance et Protection des Pêches |
| DGP | 漁業省総務部 | Director Général des Pêches |

*REPUBLIQUE DE GUINEE.*
*MINISTERE DES PECHES ET DE L'ELEVAGE.*
*CENTRE NATIONAL DES SCIENCES HALIEUTIQUES DE BOUSSOURA.*

# LA LISTE DES RAPPORTS DU C.N.S.H.B.

***Etablie par le Service d'information et de valorisation (SIVA)*.***

*Conakry.*

*C.N.S.H.B. mai, 2001.*



CNSHB. B.P. 3738/39. Conakry (GUINEE)/Tél. 46-44-91.

## RAPPORTS DE CAMPAGNES DE CHALUTAGE :

DOMAIN F., 1989. - Rapport des campagnes de chalutage du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée de 1985 à 1989. Doc. Scient. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 5 : 81p.

DIALLO A.. et F. DOMAIN, 1991. - Rapport de la campagne de chalutage du N.O LUIS SAUGER au large de la Guinée (24 avril au 19 mai 1990). Doc. Scient. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 15 : 56 p.

DOMAIN F. 1989. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 5 (novembre 1987). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 5 : non pag.

DOMAIN. F. 1989 - Données des campagnes de chalutages N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 6 (avril 1988). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 6: non pag.

DOMAIN F. 1989. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 7 (septembre 1988). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 7: non pag.

DOMAIN F. 1989. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 8 (septembre 1989). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 8: non pag.

DOMAIN F. 1990. - Données des campagnes de chalutages du N.O. ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 9 (Novembre 1989). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 9: non pag.

DOMAIN F. 1990. - Données des campagnes de chalutages du N.O. ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 10 (avril 1990). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 10: non pag.

DOMAIN F. 1990. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 11 (Juillet 1990). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 11 : non pag.

DOMAIN, F 1989- Rapport des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY au large des côtes de Guinée-Bissau (24 avril au 19 mai 1990) Non pag.multigr.

DOMAIN F. 1991. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 12 (Janvier 1991). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 12 : non pag.

DOMAIN F. 1991. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 13 (mars 1991). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 13 : non pag.

DOMAIN F. 1991. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 14 (juin 1991). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 14 : non pag.

DOMAIN F. 1991. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 15 (septembre 1991). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 15 : non pag.

DOMAIN F. 1992. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 17 (janvier 1992). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 17 : non pag.

DOMAIN F. 1992. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 18 (avril 1992). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 18 : non pag.

DOMAIN F. 1995. - Données des campagnes de chalutages du N.O ANDRE NIZERY dans les eaux de la Guinée. CHAGUI 19 (février 1995). Doc. Arch. Cent. Rech. Halieut. Boussoura, Conakry, 19: non pag.

## RAPPORTS ANNUELS :

CRHB. 1990. - Programmes de recherches 1991. Conakry; 33 p. multigr.

CRHB 1992 - Rapport d'activité 1991 Conakry 27p multigr

CRHB 1992 - Rapport technique situation du secteur des pêches maritimes et recommandations Ministère de l'agriculture et des ressources animales décembre 1992 Conakry 15:p multigr annexes.

CNSHB 1993 - Rapport d'activité 1992. Conakry, 61 p multigr

CNSHB 1993 - Rapport technique. Situation du secteur des pêches maritimes et recommandation au Ministère de l'Agriculture et des Ressources Animales. Conakry; 24 p multigr

CNSHB/ORSTOM 1994 - Recherche sur les eaux continentales de Guinée- maritime: rôle l'environnement physique et Biologique sur les ressources ichtylogiques en Basse-Guinée (Rapport de fin de convention). Conakry: cnshb, 51 p multigr.

CNSHB 1994 - Rapport technique situation du secteur des pêches et recommandations au Ministre des Pêches et de l'Aquaculture. Conakry: cnshb; 15 p. multigr.

CNSHB. 1995 - Rapport scientifique et technique de conjoncture : ressources et exploitation. Conakry , 21 p. Multigr.

CNSHB-ORSTOM - Projet protection et surveillance des pêches de la ZEE guinéenne «volet scientifique» rapport de fin d'étude. Conakry : cnshb, 1995 ; 137 p. Multigr ; + annexes.

CNSHB 1997 - Rapport d'activité 1997. Conakry, 29 p multigr

CNSHB. 1997. - Rapport scientifique et technique de conjoncture 1997 : diagnostic sur les ressources et l'exploitation. Conakry : cnshb ; 12 p multigr.

## RAPPORTS DE RECHERCHE :

CRHB 1992 - Rapport technique : situation du secteur des pêches maritimes et recommandations Ministère de l'agriculture et des ressources animales décembre 1992 Conakry 15:p multigr annexes.

CNSHB 1993 - Rapport technique : situation du secteur des pêches maritimes et recommandation au Ministère de l'Agriculture et des Ressources Animales. Conakry; 24 p multigr

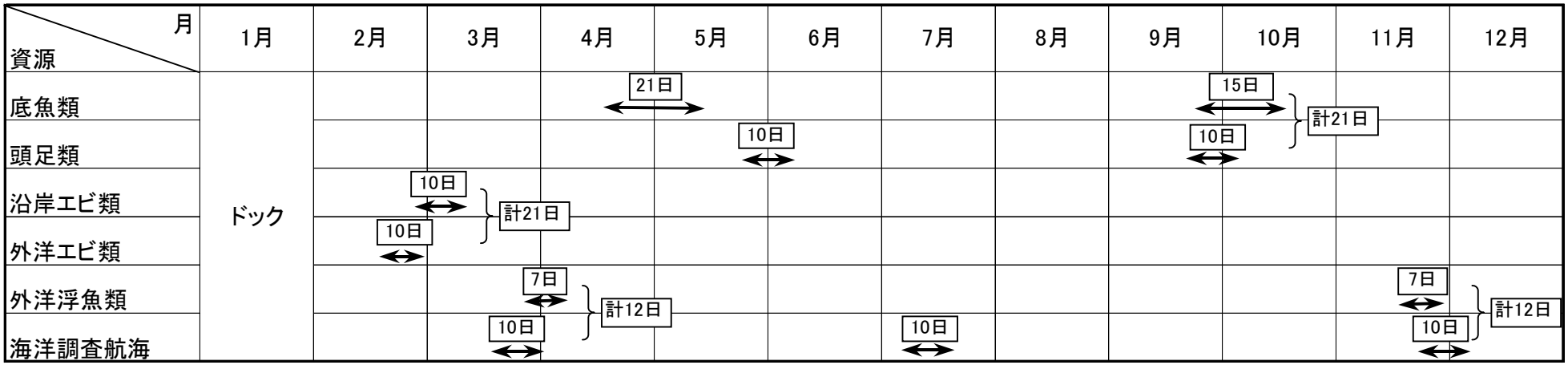
CNSHB/ORSTOM 1994 - Recherche sur les eaux continentales de Guinée- maritime: rôle l'environnement physique et Biologique sur les ressources ichtyologiques en Basse Guinée (Rapport de fin de convention). Conakry: cnshb, 51 p multigr.

CNSHB 1994 - Rapport technique situation du secteur des pêches et recommandations au Ministre des Pêches et de l'Aquaculture. Conakry: cnshb; 15 p. multigr.

CNSHB. 1995 - Rapport scientifique et technique de conjoncture : ressources et exploitation. Conakry ; 21 p. multigr.

CNSHB-ORSTOM - Projet protection et surveillance des pêches de la ZEE guinéenne «volet scientifique» rapport de fin d'étude. Conakry : cnshb, 1995 ; 137 p. multigr ; + annexes.

CNSHB. 1997. - Rapport scientifique et technique de conjoncture 1997 : diagnostic sur les ressources et l'exploitation. Conakry : cnshb ; 12 p multigr.




総航海日数:107 日

**考慮･検討点**

**・底魚類**

漁獲量(1998)は4－6月が多。→年2回の調査を行うが、春をメインとし秋をサブとする。

・調査では同一の漁具を用い、定点を決めグリッド調査を行う。

・春の調査ではグリッド数を最多に設定し、秋にはグリッド数を間引きして行う。

・春にはボンゴネットを用い産卵稚仔調査を行う。

**・頭足類**

漁獲量は4－6月が多。→ギニア側が期待している資源の為、漁獲量最多期および秋の2回調査とする。

・調査地域は湧昇流が発生し主な漁場となっている北西海域とする。

**・エビ類**

エビは外洋･沿岸とも今迄にあまり統計資料はない。→漁獲量は年変化が少ないが沿岸エビでは3－4月に漁獲が増えている。その時期を含め、沿岸・外洋をまとめて調査とする。

**・外洋浮魚調査**

今までの調査では3－4月に北西海域、水深15－40mのところで湧昇流が確認され、その時期に浮魚類資源がその海域に集中するとみられている。その時期を含め年2回調査とする。

**･海洋調査**

雨季に1回、およびその影響で塩分濃度低下を招く時期11月に一回、それを除く時期1回の計3回調査を行う。

・外洋浮魚調査と並行して行う。

**･その他**

雨季とくに7－9月の降水量は多い。→ドックを1月に。この期間は調査を外す。この時期には陸上ラボでの解析を集中させる。

## CNSHB の要員・技術レベル評価法とその評価

### 調査･研究員

研究員および研究員集団の新調査船使用に当っての水産資源調査に係る技術的レベルを評価するには、総体的に見て 4 通りの方法がある。

1 番目は、自ら作製している漁獲統計資料が信頼の置ける水準に達して居ると自負し、その資料を自由に用いているかどうかの判定である。

第 2 番目には、センターが過去に行った調査船調査の記録・報告書を審査する事によって乗船調査員の調査技能に留まらず、陸上における資料取り纏めの能力をも判定する事。

第 3 番目には、センターが独自で刊行したしているかどうか、またその内容についてのレベルを判定する事。

第 4 番目には、当事者達とのインタービューを通じて研究内容の妥当性と研究手法の取得の程度を直接的に審査する方法である。

調査団は、これら 4 通りの審査を全て行った。その結果、センターは未だに「未発達の部分」や「未到達の部分」を内在させてはいるが、

① 基礎的学力や手法には充分な知見と技術を習得している事、

② ある面ではかなり高い水準に達している部分も認められる事、これらの事から

③ まだ「未発達の部分」は近い将来に次第に開発され得る事、

④ 「未到達の領域」についても、今後の研鑽で到達できる潜在的可能性が認められる

と判定し、近く自らの調査船を用いた初めての試みを開始する事に適正な資格と条件を保有していると判断した。

**（ⅰ）統計資料の点検、その利用のされ方、統計処理担当官とのインタービューによる審査**

統計処理担当者も利用者（研究者）も自らが創り上げた漁獲統計値に誇りを持ち、かつより良い統計精度を生み出すように努力し続けている様子が窺われた。例えば「オブザーバー・レポート」の書式や記入の実例やその処理の仕方などを見てもその事が窺われた。また色々な記述に良く引用して利用している様相が通例の観察であった。資源研究の基幹的資料の整備と利用に対する積極的な態度は、極めて良好で健全と判断された。

**（ⅱ）過去に行った調査船での調査の記録や報告書についての審査**

センターが EU の援助によって設立された直後(1985 年)から近年最後に行った海上調査(1998 年）に至るまでの度重なる傭船による調査記録を点検した所、その初期の段階では調査計画と取り纏め作業の殆どをギニアに常駐していた ORSTOM（フランス）の技術者に委ねていた様であったが、中期頃 (1990 年) の調査から、次第にセンターの研究者の乗船人員数が増加するなど、センター職員の参画が明らかになり、定点調査の結果による資源の分布図の作製と表示、漁獲率から資源の生体量を推定する作業なども定型化/定着化を始めて来た事、従って報告書の執筆にもセンターの研究者が著者として表記される様になってきた。最終の調査報告書（1998 年）には、センター副所長が単独で報告書を執筆するほどになってきている。これらの事は、トロール調査の技法が次第にセンター職員に転移してきた事と、資料の解析手法にも次第に慣れて

来た事を表していると判断される。しかし、未だに完全に独り立ちが出来るかどうかについては若干の不安が残る。特に「調査と標本採集の総合的な計画組立て」は、完全には体得出来ては居ないと考えた方が安全と言える。現時点での駄目押しとして、今後その面での研修の機会を与えて置く事が切に望まれる。

(iii) センター個有の研究報告書や外部印刷物への投稿原稿についての審査

過去にセンターが独自で刊行した研究報告書は非常に少なかった。漁具・漁法や漁業の実態、社会・経済に関する報告書を含めて総数でも 27 編に過ぎず、とくに資源生物学上の出版物は 2 編に過ぎなかった。これは、センターが設立され研究活動を開始してからまだ日が浅く(16 年)、材料の処理と解析のためには先進国でも長い時間を必要とする資源研究の持つ宿命的なハンディキャップもあろう。しかし数少ない 2 編の報告書は、①ハマギギ類（重要底魚類）の年齢と成長の解析及び、②コノシロ類（重要浮魚類）の成熟と繁殖の研究に関する報告で、2 篇とも 3 名ずつの複数の研究者によって執筆されたものであった。これらの面での研究は、資源生物学的には必須の分野であるから、研究者の潜在的な解析能力はかなり高い所まで達しつつ在ると見て良い。年齢についての解析が少ない事の原因は、年齢査定の基本である耳石処理の為の切断機が老朽化・破損し、使用不能と成って居たことにも原因がある。また、全般に近年の印刷物が少ない事の原因には、センターの印刷機が数年前に故障し、過去数年間にわたってセンターの印刷機能が停止して仕舞い込んでいる、と言う事にも在る。研究員達の手持ち資料を探索したところ、ドラフトの状態で印刷待ちの状態で眠っている原稿が幾つも存在していた。

センターの独自ではない印刷物としては、IRD との共同定期出版物（「ギニア水域における資源とその開発」と題する研究報告の収録集で IRD が印刷している）がある。近年の同出版物には、センター研究者の単独ないし共著者としての研究報告が増加している。しかしこの分野においても、社会・経済、漁業の実態等の分野での発表が殆どで、資源研究の報告は皆無であるのは上に述べた理由によるのであろう。同種の出版物としては「ATLAS」（資源、漁業、環境に付いての概説的出版物）がある。その最新版（1997 年版）では、センターの研究者たちが主体的に資料処理と執筆を行うまでに成っている。つまる所、この面から見てもセンターの研究者達の技術的能力は向上して来ていると考えて良い。

(iv) 当事者達とのインタービューによる研究内容の妥当性と手法取得の程度の審査

上に述べた様に、この調査の他の項目を含み、全般的な調査研究関係の事情の詳細を審査する為に、5 月 29 日から 31 日の間にセンターの主だった研究者達と合同で集中的な討論と協議を行った。この調査の討論と協議に出席した研究員は、副所長を始めとして総勢 11 名であった。その結果、多くの事項についての詳細な事情が判明した。得られた結果は本報告の随所に記述した。

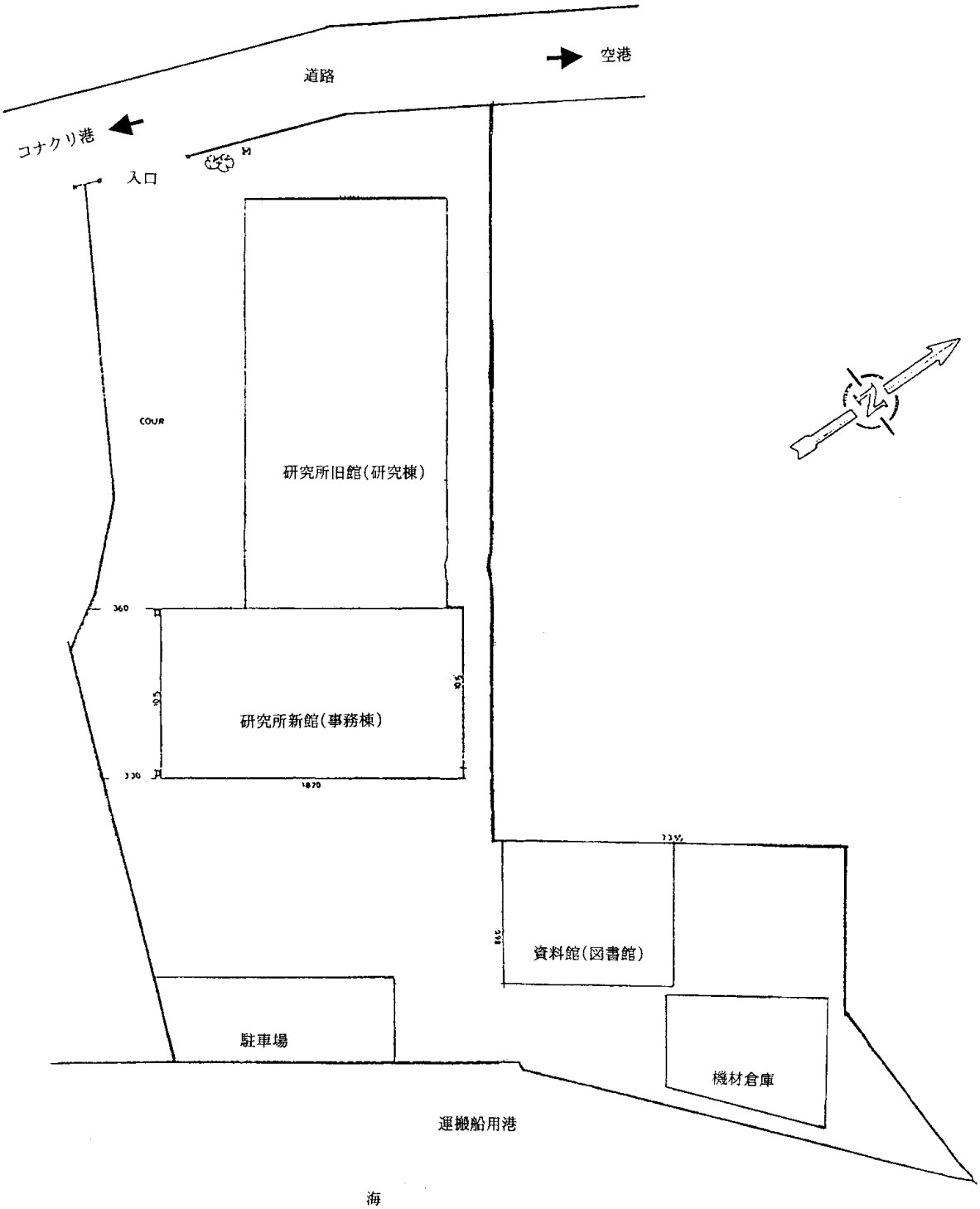
(v) 「未発達」と「未到達」の分野について

現時点ではセンターの研究者達が全ての調査手法や解析手法を習熟している訳では決して無い。センターは設立されてから未だ 16 年の歳月しか経過していない。日常的に適用している手法や技法が「幼い事」はその意味では当然の事であろう。むしろ、その短い期間に途上国の悪条件を越えて、成長している足跡がうかがえる。今後においてもこの面での成長への意欲は充分に備えていると判定されるから、事業団の勧告している様に「段階的な発展」を図って行く

素地は充分にあると考える。

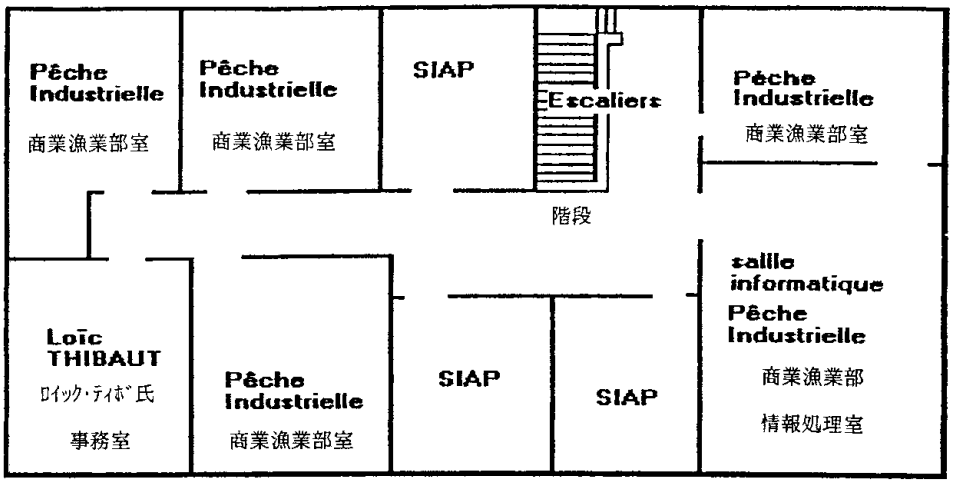
水産資源の研究を行う上での究極の目標は「資源の動向を評価」する事にあるが、「評価」の側面で見れば、センターの研究者集団は未だに完全に「未到達」である。個体群の成長法則を明らかにし、資源の年齢組成を推定し、繁殖生態をも明らかにし、加入の条件を設定してコホルト解析（年級群解析）を行ない、資源の再生産関係を吟味すると言う「評価」の真髄に迫る作業には全く手が及んでいない。しかしこれも、事業団の勧告している様に「段階的な発展」を図って行く素地は充分にあり得ると考える。

CNSHB 敷地・建物配置図

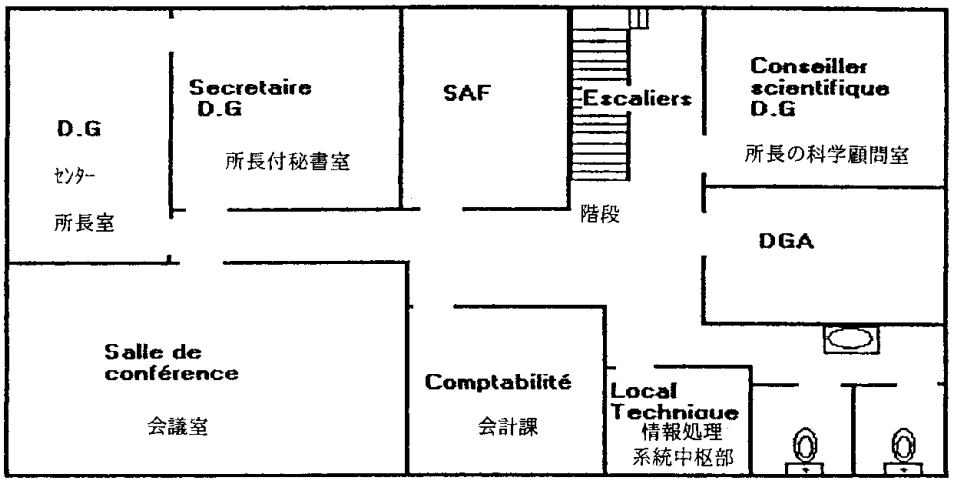


## PLAN D'OCCUPATION DES BUREAUX APRES LES TRAVAUX 研究所新館配置図

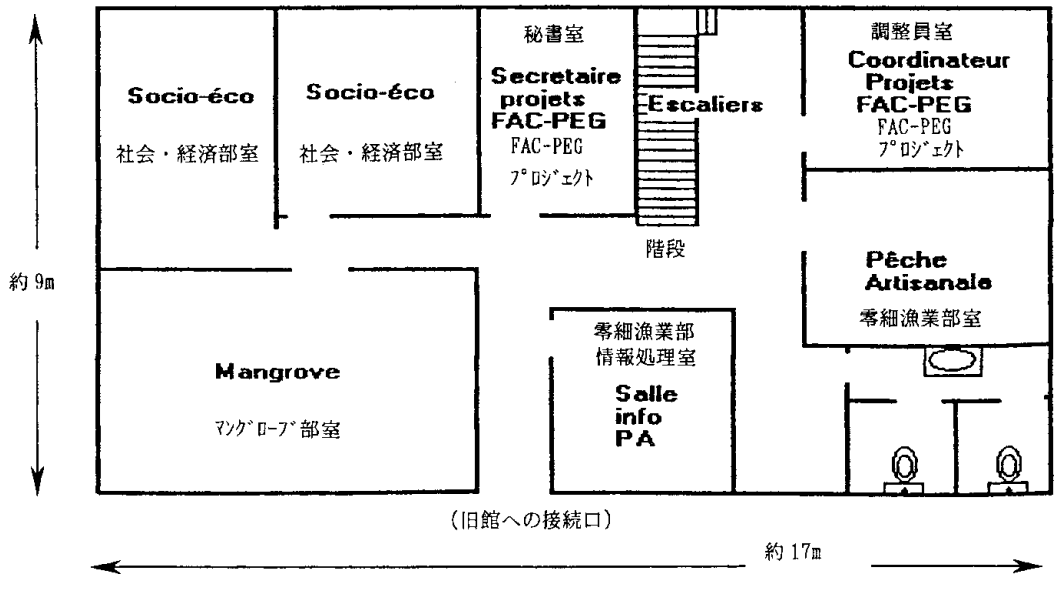
### 2ième Etage du Nouveau Bâtiment 新館 3 階



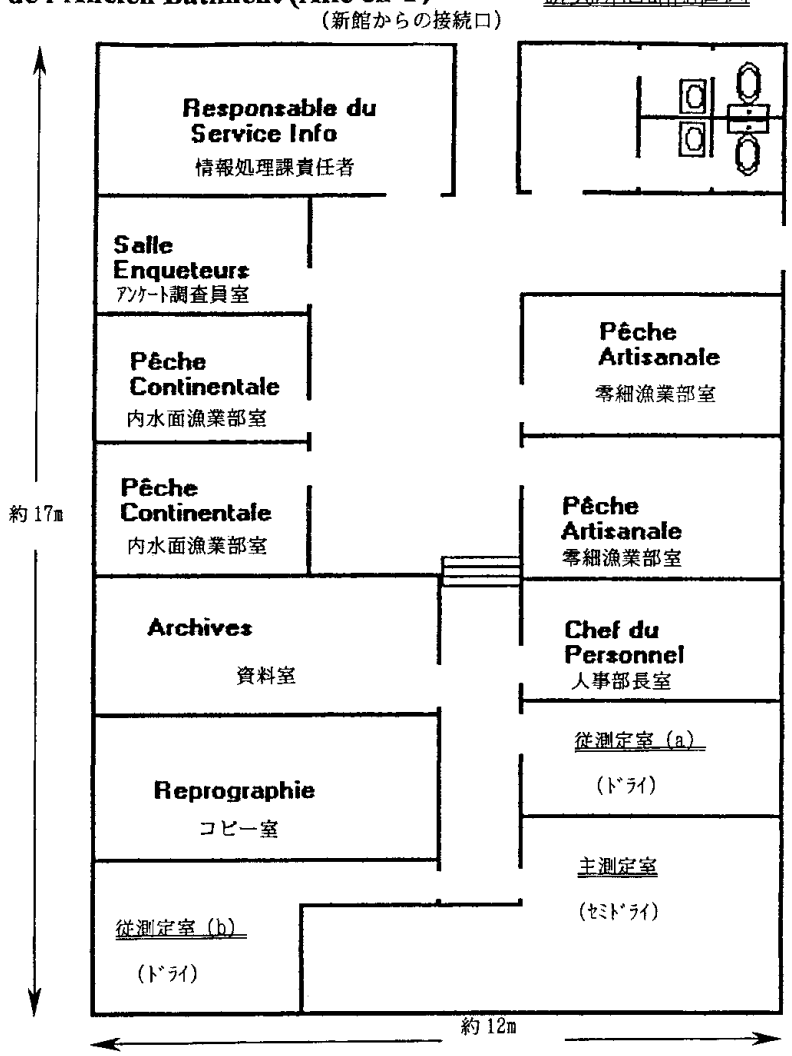

### 1er Etage du Nouveau Bâtiment 新館 2 階

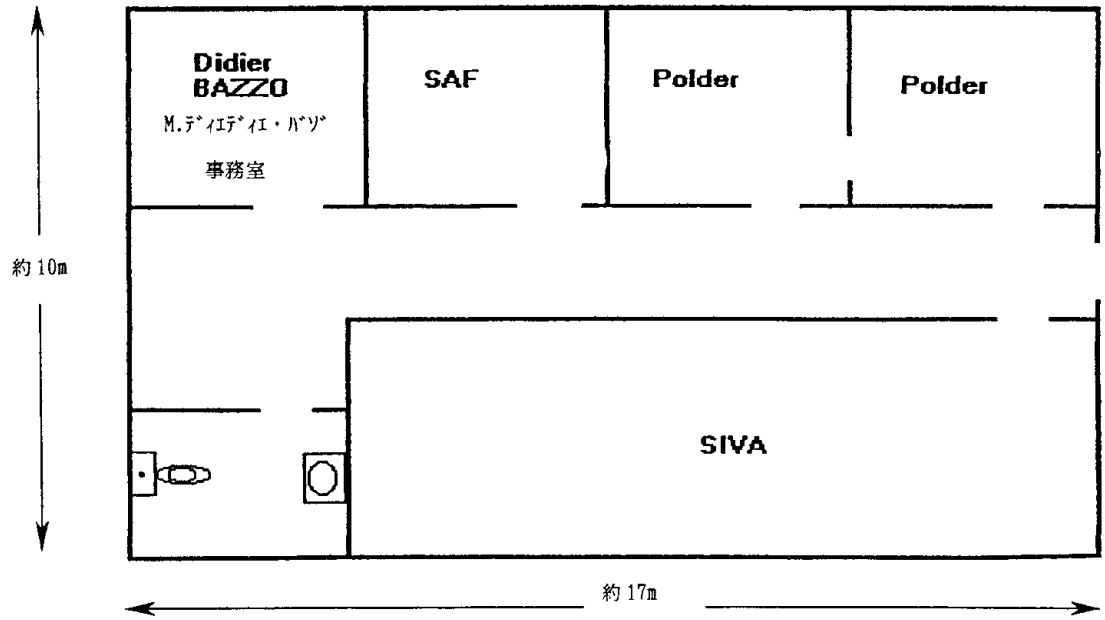



### Rez-de-chaussée (Nouveau Bâtiment) 新館 1 階



**Plan de l'Ancien Bâtiment (Aile en T)** 研究所旧館配置図




**Plan du Bâtiment Annexe** 付属建屋配置図（資料館）